

社会科（地理的分野）

社会科（地理的分野）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。
- 4 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、地理的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。
- 5 生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の国土と郷土に対する愛情、伝統と文化の尊重、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深められるよう、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

社会科（地理的分野）

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい社会 地理」

学習課題が、単元を貫く「探究課題」と毎時間ごとの「学習課題」の2段階で示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が提案されるとともに、「探究課題」の解決につなげる「探究のステップ」が用意されるなど、よく工夫されている。また、「探究課題」の解決に向け、毎時間ごとの学習課題や「チェック＆トライ」を積み重ね、そこで習得した知識・技能をもとに、「探究のステップ」に取り組んだうえで、まとめ活動で「探究課題」の解決を図るという課題解決的な学習の流れが構造化されており、生徒にとって取り組みやすい。

地理学習に必要な技能を身に付けられるよう、資料の読み取り、情報収集・まとめなどの技能を身に付けるためのコーナー「集める」「読み取る」等の活動や、方位の示し方や時差の調べ方などが数多く紹介されている「スキルアップ」コーナー、写真やグラフ、地図などの資料を読み取る力を養う特設ページ「資料から発見！」等が随所に設定されているなど、工夫されている。

導入の活動から毎時間の学習、まとめの活動までを通して、「見方・考え方」マークを付けた活動が随所に設定されており、また、「まとめの活動」では、ベン図、クラゲチャートなどの思考ツールの活用が提案されているなど、生徒が見方・考え方を働かせながら探究課題の解決を図れるようよく工夫されている。

教科書全体で5つのテーマ「環境・エネルギー」「防災・安全」「人権・平和」「伝統・文化」「情報・技術」が取り上げられており、SDGsと結び付けて世界や日本の現代的な諸課題の解決を目指す学習を行う構成となっている。また、世界の諸地域の「まとめ活動」では、生徒が世界の各州で見られる課題をSDGsと関連付けて整理したうえで、地球的課題の視点から各州の地域的特色を捉え、持続可能な社会に向けての課題を考察するなど、生徒が社会参画の意識を高められるようよく工夫されている。

■教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」

世界の諸地域や日本の諸地域の学習の単元では、単元を通じた学習テーマや学習の視点が示されているとともに、毎時間ごとの学習課題に対するまとめ活動、単元末でのまとめ活動に加え、単元の学習を通して身に付けた知識・技能を活用して現代的な課題について考える特設ページが設けられるなど、工夫されている。また、随所に設けられる「読み解こう」コーナーでは、生徒が資料を読み取り、分析する際の視点が問いの形で示されているとともに、巻頭「地理にアプローチ」や適所に設けられた「地理の技」コーナーでは、地図やグラフの扱い方が具体的に示されることで、生徒が地理学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。

巻頭ページでは、地理の学習を進めていくうえで重要な視点として「地理的な見方・考え方」が5つの視点で解説されている。また、地理的な見方・考え方を働かせる問いを毎時間の学習の中で、「確認／表現」として設定することで、生徒が学習課題に対して見方・考え方を働かせた学習に取り組めるよう工夫がされている。

さらに、巻頭ページでは、「地球的課題とSDGs」と題して、SDGsの17の目標を掲げ、世界の6つの州で扱う地球的課題との関連を確認できるよう工夫されている。また、各州の冒頭で

も、学習の視点となる地球的課題がどのような課題かを示し、生徒が地域的特色を追究する学習を展開できるよう工夫されている。

特設ページ「地域から世界を考えよう」や「現代日本の課題を考えよう」では、世界の各州や日本の各地方の事例をもとに、地域づくりや社会参画、持続可能な社会について考える題材が取り上げられるなど、生徒が身近な例から自らも社会に参画しようとする意識を高められるよう工夫されている。

■帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」

各部・章ごとに、その部・章全体のねらいが示されているとともに、学習課題が単元を貫く問いとなる「章の問い」「節の問い」と毎時間ごとの問いの2段階で用意され、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されていることで、生徒にとって学習が進めやすく、優れている。また、各章末のまとめでは、これまでの学習内容を模式図に整理するなど、視覚的に確認しながら、生徒が見方・考え方を働かせて段階的に単元を貫く問いの解決を図ることができるなど、単元を通して課題解決的な学習の充実が図られるようよく工夫されている。

地理学習に必要な技能を身に付けられるよう、資料を読み取る際の具体的な視点やその資料をもとに考えを深める活動が用意されている「資料活用」が適宜設定され、情報を読み取る力を高められるとともに、随所に設定された「技能をみがく」コーナーでは、様々な資料の読み取り方や地域調査の手法が示されるなど、工夫されている。

巻頭ページでは、地理の学習を進めていくうえで重要な視点として「地理的な見方・考え方」について5つの視点で解説されている。また、各節末の「節の学習を振り返ろう」では、用意された各地域の地図とキーワードをもとに学習した内容を振り返った後、「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」として、模式図を使って各地域の特色や背景、課題等を踏まえ、持続可能な社会に向けた自分の考えを表現したり、まとめたりする活動が設定されるなど、多面的・多角的に考察しながら、課題解決につながる言語活動が充実しており、優れている。

世界の諸地域の「序説」には、世界の6つの州の特色を追究する視点・ねらいと注目する地球的課題の関係が一覧で示されているとともに、「節の学習を振り返ろう」では、地球的課題と地域的特色を関連付けて考察し、課題解決を図る活動が設定されるなど、よく工夫されている。

コラム「未来に向けて」で、「環境」「防災」「共生」を主題とする題材が多く取り上げられており、持続可能な開発目標の意義について理解を深められるよう工夫されている。また、世界の諸地域の各州のまとめでは、持続可能な社会に向けて構想する活動が設定されるとともに、最後の単元「地域の在り方を考える」では、各地の課題をもとに、実態把握・課題の要因を考察し、課題解決に向けた構想・成果の発信といった活動が設定されるなど、生徒が社会参画の意識を高められるようよく工夫されている。

■日本文教出版「中学社会 地理的分野」

各編の導入では、これから学習する内容の概要が示されているとともに、毎時間ごとの学習課題とその課題解決の手がかりとなる見方・考え方も併せて示されており、また、学習課題に対応したまとめも設定されているなど、工夫されている。

地理学習に必要な技能が身に付けられるよう、適宜「資料活用」コーナーが設定され、地図や

グラフを読み取る活動が提案されている。また、「スキルUP」では、地理的技能を6種類に整理した系統立てられた解説と問いが提示されるなど、工夫されている。ただし、単元を通して解決を目指す学習課題が設定されておらず、生徒が課題解決的な学習を進めるにあたっての手立てが弱い。

巻頭ページ「地理との出会い」では、地理的な見方・考え方が、イラストを交えてわかりやすく説明されている。また、単元の導入では、単元を貫く学習の着目点としての見方・考え方が示されているとともに、毎時間ごとの学習課題に応じて、着目する見方・考え方が示されており、生徒が常に見方・考え方を学習の視点として具体的に捉えやすく、優れている。

世界の諸地域の冒頭では、世界の6つの州の地域的特色を追究するためのテーマに加え、各州の地球的課題が一覧表の形で示されており、生徒が各州の学習と関連させながら、地球的課題の要因や影響を考察しやすい。また、学習のまとめ「アクティビティ」や「チャレンジ地理」では、地球的課題と地域的特色を関連付けて考察する活動が設定されているなど、よく工夫されている。

人権、環境問題・環境保全、平和・命の尊さ、防災・減災、伝統と文化などをテーマとした題材が多く取り上げられており、現代的な諸課題について考えを深めることを通して、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること	1 基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	○	○	○
		2 指導事項(学習課題やまとめ・振り返り活動等)の明示	◎	○	◎	○
		3 用語・語句の取り上げ方や説明・注釈などに関する工夫	○	○	○	○
		4 様々な情報を収集・読み取り・まとめる技能を身に付けるための工夫	○	○	○	○
2	習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること	1 習得した知識・技能の活用を促す工夫	○	○	○	○
		2 説明したり議論したりするなどの言語活動の充実	○	○	◎	○
		3 課題を追究したり解決したりする学習の進め方の提示	◎	○	◎	△
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすい工夫・配慮がなされていること	1 主体的・対話的な学習に向けた工夫	○	○	○	○
		2 探究意欲を高める工夫	○	○	◎	○
		3 発展的な学習活動につながる工夫	○	○	○	○
4	グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、地理的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること	1 地理的な見方・考え方を働かせる課題設定の工夫	◎	○	○	◎
		2 世界の諸地域学習における地球的課題の視点の位置付け	○	○	◎	◎
		3 日本の諸地域学習における適切な考察の仕方の設定と柔軟性	○	○	○	○
5	生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の国土と郷土に対する愛情、伝統と文化の尊重、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深められるよう、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること	1 持続可能な社会の形成に参画する態度を養うための工夫	◎	○	◎	○
		2 多様な文化を理解し尊重する態度を養うための工夫	○	○	○	○
		3 地域調査に関する学習、観察や調査、作業的な学習の設定や工夫	○	○	○	○
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること	1 人権教育の推進	○	○	○	○
		2 道徳教育の推進	○	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること	1 単元構成の系統性・発展性	○	○	○	○
		2 他教科や教育課題等との関連	○	○	○	○
		3 他校種との接続	○	○	○	○
		4 家庭・地域との連携	○	○	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすい工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること	1 文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	○
		2 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○

【社会科（地理的分野）】観点別資料

【選定の観点1－1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
○毎時間ごとに設定されている「チェック」「トライ」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「チェック」では基礎的・基本的な内容を確認し、「トライ」では要約や説明をする言語活動に繰り返し取り組むことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○各章末に「基礎・基本のまとめ」が設定されており、学習した語句の説明をしたり、学習した地域の地名を確認したり、その地域の特色を示す資料を探したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○学習課題が、単元を貫く「探究課題」と毎時間ごとの「学習課題」の2段階で示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が設定されているとともに、「探究課題」の解決につなげる「探究のステップ」が用意されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○本文の難しい用語には、注釈で補足説明が付けられている。また、巻末には、「用語解説」のページが用意され、巻末・本文ともに、関連ページが表示されているため、難しい用語について調べやすく、生徒にとって使いやすい。	○毎時間ごとに設定されている「確認」「表現」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「確認」では基礎的・基本的な内容を確認し、「表現」では学習課題に関するまとめや話し合い活動を行うことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○各章末に「学習のまとめと表現」が設定されており、学習した語句の説明をしたり、地図上の位置や地名を確認したり、その地域の特色をまとめたりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○世界や日本の諸地域の学習の単元では、単元を通じた学習テーマや学習の視点が示されているとともに、毎時間ごとの学習課題に対するまとめに加え、単元末でもまとめ活動が設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○本文の難しい用語には、注釈で補足説明が付けられている。また、巻末には、「用語解説」のページが用意され、巻末・本文ともに、関連ページが表示されているため、難しい用語について調べやすく、生徒にとって使いやすい。	○毎時間ごとに設定されている「確認しよう」「説明しよう」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「確認しよう」では、本文や図から重要語句やポイントを書き出し、「説明しよう」では習得した知識を活用する言語活動に繰り返し取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○各章末に「章の学習を振り返ろう」が設定されており、章の導入部で示された写真をもとに、学習したキーワードを確認しながら、章全体の学習内容を振り返ることができるとともに、地図上の位置や地名を確認したり、まとめたりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○適宜、部・章全体のねらいが示されるとともに、学習課題が単元を貫く問いとなる「章の問い」や「節の問い」と毎時間ごとの問いの2段階で用意され、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されているなど、生徒にとって学習が進めやすく、優れている。 ○巻末に「用語解説」等のページは設けられてはいないが、本文中のわかりにくい用語には、注釈で補足説明を付けるとともに、特に難しい用語には、「解説」コーナーを充実させることで、生徒の用語理解を助けている。	○毎時間ごとに設定されている「確認」では、学習課題とともに示された見方・考え方をもとに、学習のまとめができるよう工夫されている。また、適宜設定される「深めよう」では、見方・考え方を働かせる問いが用意されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○各章末に「学習のまとめ」が設定されており、学習した内容をもとに、地図上の位置や地名、章のテーマに沿ったキーワードを確認しながら、まとめたりするなどの課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○各編の導入で、これから学習する内容の概要が示されているとともに、毎時間ごとの学習課題とその課題解決の手がかりとなる見方・考え方も併せて示されている。また、学習課題に対応したまとめや見方・考え方を働かせて取り組む問いが設定されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。 ○本文の難しい用語には、注釈で補足説明が付けられている。また、巻末には、「用語解説」のページが用意され、巻末・本文ともに、関連ページが表示されているため、難しい用語について調べやすく、生徒にとって使いやすい。

【選定の観点1－2】

学習課題や目標の明示，適切なまとめや振り返り活動の設定など，生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
○資料の読み取り，情報収集・まとめなどの技能を身に付けるためのコーナー「集める」「読み取る」「まとめる」活動が随所に設定されている。また，方位の示し方や時差の調べ方，様々な資料の読み取り方などが数多く紹介されている「スキルアップ」コーナーや写真やグラフ，地図などの資料を読み取る力を養う特設ページ「資料から発見！」など，生徒が地理学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。	○随所に設けられている「読み解こう」コーナーでは，生徒が資料を読み取り・分析する際の視点が問いの形で示されている。また，巻頭の「地理にアプローチ」や適所に設けられた「地理の技」コーナーでは，地図やグラフの扱い方が具体的に示されているなど，生徒が地理学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。	○適宜設定されている「資料活用」では，資料を読み取る際の具体的な視点やその資料をもとに考えを深める活動が用意されているなど，生徒が必要な情報を読み取る力を身に付けられるよう工夫されている。また，随所に設定されている「技能をみがく」コーナーでは，様々な資料の読み取り方や地域調査の手法が示されているなど，生徒が地理学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。	○適宜設定されている「資料活用」コーナーでは，地図やグラフを読み取る活動が提案されている。また，「スキルUP」では，地理的技能を6種類に整理した系統立てられた解説と問いが提示されており，生徒が地理学習に必要な技能が身に付けられるよう工夫されている。

【選定の観点2】

習得した知識・技能を活用しながら，生徒が問題発見・解決的な学習，話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み，多面的・多角的に考察しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
○毎時間の学習のまとめとなる「トライ」で，1時間の学習内容をもとにした，要約や説明する活動が設定されている。また，各単元のまとめや振り返りには，単元の学習を通して得た知識をもとに，思考ツールを活用しながら自分の考えを整理・表現する活動が用意されているなど，生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。 ○単元の導入やまとめ，毎時間ごとに設けられている「みんなでチャレンジ」では，EU統合を進めるべきか，進めるべきでないかをディスカッションするなど，複数の視点が具体的に示された話し合いなどの言語活動が豊富に設定されており，多面的・多角的に考察しながら，言語活動の充実が図れるよう工夫されている。 ○各単元の導入の活動で，単元全体を貫く問いとして「探究課題」が設定されている。その「探究課題」の解決に向け，毎時間ごとの学習課題や「チェック&トライ」を積み重ね，そこで習得した知識・技能をもとに，「探究のステップ」に取り組んだうえで，まとめ活動で「探究課題」の解決を図るという課題解決的な学習の流れが構造化されており，生徒にとって取り組みやすく，優れている。	○毎時間の学習のまとめとなる「表現」で，学習した内容について，さらに調べたりまとめたりする活動が設定されている。また，各章末の「学習のまとめと表現」では，章の学習で習得した知識を整理しながら，自分の考えをまとめたり，話し合ったりする活動が設定されているなど，生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。 ○各章末の「学習のまとめと表現」では，章の学習テーマをもとに，複数の視点からの意見交換や話し合う場面が設定されており，生徒が多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。また，特設ページ「地域から世界を考えよう」では，EUやアフリカが抱える課題等，今日的な課題に迫る問いが設けられるなど，言語活動の充実が図れるよう工夫されている。 ○世界の諸地域や日本の諸地域の単元では，導入部分で学習テーマや学習の視点が示され，そのテーマに基づいた毎時間ごとの学習課題が設定されている。単元の最後には，単元の学習を通して身に付けた知識・技能を活用しながら課題解決を図るまとめのページが設けられており，生徒が課題解決的な学習を進められるよう工夫されている。	○毎時間の学習のまとめとなる「説明しよう」で，1時間の学習内容をもとに，説明してまとめる活動が設定されている。また，各章末の「章の学習を振り返ろう」では，章を通じた学習内容を整理し，話し合い等を通して，自分の考えを深めていく活動が段階的に示されているなど，生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。 ○各節末の「節の学習を振り返ろう」では，各地域の地図とキーワードをもとに学習した内容を振り返った後，「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」として，模式図を使って各地域の特色や背景，課題等を踏まえ，生徒が持続可能な社会に向けた自分の考えを表現したり，まとめたりする活動が設定されるなど，多面的・多角的に考察しながら，課題解決につながる言語活動が充実しており，優れている。 ○部・章全体のねらい，単元を貫く問い，毎時間ごとの問いが設定されており，それら問いに対する考察やまとめの活動が各単元末や毎時間に用意されている。また，各章末のまとめでは，これまでの学習内容を模式図に整理するなど，視覚的に確認しながら，生徒が見方・考え方を働かせて段階的に単元を貫く問いの解決を図ることができるなど，単元を通して課題解決的な学習の充実が図れるようよく工夫されている。	○毎時間の学習のまとめとなる「確認」では，1時間の学習内容をもとに，説明したりまとめたりする活動，「深めよう」では，見方・考え方を働かせて学習内容をさらに深めるための活動が設定されている。また，各章末の「アクティビティ」や「チャレンジ地理」では，章の学習を通して身に付けた知識・技能を活用する活動が設けられているなど，生徒が思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。 ○各節末の「アクティビティ」や各単元末の「チャレンジ地理」では，その地域の具体的な課題についてグループで話し合ったり，議論したりする活動が設定されているなど，言語活動の充実を通して，生徒が多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。 ○毎時間ごとに学習課題が示され，その課題に対応したまとめも設定されているが，単元を通して解決を目指す学習課題が設定されておらず，生徒が課題解決的な学習を進めるにあたっての手立てが弱い。

【選定の観点3】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
○各単元の「導入の活動」で、資料をもとに単元の学習課題を掴むための対話的な学習の場面が設けられている。また、導入で単元を貫く探究課題を示すことで、生徒が単元の見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。さらに、単元の導入やまとめ、毎時間ごとなど様々な場面で適宜「みんなでチャレンジ」のコーナーが設けられており、単元を通して対話的な活動が展開できるよう工夫されている。 ○各単元を貫く探究課題の解決につながる問いが、各時間にそれぞれ設定されている。また、各単元の「まとめの活動」では、生徒が学習内容を振り返って地域的な特色を整理しながら探究課題の解決につなげる「探究のステップ」に取り組み、思考ツールを用いるなどして、段階的に探究的な学習を進められるよう工夫されている。 ○適宜設定されている特設ページ「もっと地理」では、本文での学習をさらに深めたり、広げたり、異なる視点で捉えたりしながら取り組む学習課題が用意されている。また、「みんなでチャレンジ」等で、対話の場面や様々な思考ツールを用いて思考を整理する活動が意図的に設定されるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。	○世界の諸地域や日本の諸地域の単元の導入では、数多くの写真とともに、学習テーマや学習の視点が示されており、生徒が学習する地域の概要を捉えたうえで、見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。また、毎時間ごとの「表現」や章末のまとめで、意見交換や話し合う場面が適宜設けられるなど、対話的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○様々な地理的課題について、世界の各州や日本の各地方の特色ある事例をから考える特設ページ「地球から世界を考えてみよう」が適宜設定されており、個の関心に応じた探究的な学びにつなげやすい。また、環境問題等、今日的な課題が例示されており、生徒がその解決に向けて、探究意欲を高められるよう工夫されている。 ○コラム「地理の窓」が随所に設けられており、本文の学習内容をさらに掘り下げ、視野を広げる内容を紹介することで、生徒の興味・関心を喚起しながら、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。	○世界の諸地域や日本の諸地域の単元の導入では、章のねらいや節の問いが示されており、併せて示されている地域の地図や大きなイラスト地図、数多くの写真をもとに、学習する地域の概観を捉えたうえで、生徒が見通しをもって主体的に学習を進められるよう工夫されている。また、単元末のまとめでは、話し合い活動が設定されるなど、対話的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○社会の課題を取り上げるコラム「未来に向けて」や特設ページ「地域の在り方を考える」で、地域社会をよりよくするために参考となる身近な事例が紹介されているなど、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。また、各節末の「節の学習を振り返ろう」では、地域的特色と課題を踏まえ、自分たちの生活と関連付けながら、持続可能な社会のあり方を考えたり、構想したりするよう構成されるなど、生徒の探究意欲を高められるようよく工夫されている。 ○社会の課題解決に向けて、地域社会をよりよくするための各地の取組事例を紹介した特設ページ「地域の在り方を考える」やコラム「未来に向けて」「地理プラス」では、環境、防災、共生社会など学習した内容をさらに掘り下げる題材が豊富に取り上げられるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。	○各章の冒頭には、章の学習目的についての説明文が示されている。また、世界の諸地域や日本の諸地域の単元の導入では、地域の様子を捉える地図や写真、クイズとともに追究するテーマが示されており、生徒が学習の見通しをもって主体的に学習を進められるよう工夫されている。さらに、各章末の「アクティビティ」や「チャレンジ地理」では、意見交換したり、話し合ったりする活動が用意されており、対話的な学習が展開しやすいよう工夫されている。 ○各編の導入ページで、その編で主に着目する見方・考え方を示したうえで、毎時間ごとの学習やいくつかの節に設定されている「チャレンジ地理」につなげ、見方・考え方を働かせながら、社会的な課題を考察し探究できるよう構成されるなど、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。 ○学習内容を掘り下げ、深めるためのコラム「地理+α」や、学習内容の理解を助けるため、地球温暖化や巨大地震等の地理的な話題を取り上げた「自由研究」など、生徒の関心を高めながら、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。

【選定の観点4】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、地理的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名			
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
○導入の活動から毎時間の学習、まとめの活動を通して、「見方・考え方」マークを付けた活動が随所に設定されており、生徒が意識して見方・考え方を働かせながら考察を深めることができる。また、「まとめの活動」では、ベン図、クラゲチャート、フィッシュボーンなどの思考ツールの活用が提案されているなど、生徒が見方・考え方を働かせながら探究課題の解決を図れるようよく工夫されている。 ○世界の諸地域の「導入の活動」で、地球環境問題など、現代的な諸課題に着目させるヒントとして、SDGsが取り上げられている。また、「まとめの活動」では、世界の各州で見られる課題をSDGsと関連付けて整理する場面が設けられており、生徒が地球的課題の視点と結び付けて理解し、解決しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。 ○日本の諸地域の冒頭ページで、「交通・通信」「自然環境」などの地域の特色を捉える5つの視点が示されており、生徒がその視点をもとに学習することで、日本の地域的特色の理解を系統的に深めていくことができるよう工夫されている。また、5つの視点が次に学習する地域の課題を想定し考察するヒントとして機能するよう関連が図られるなど工夫されている。	○巻頭ページで、地理の学習を進めていくうえで重要な視点として「地理的な見方・考え方」が5つの視点で解説されている。また、地理的な見方・考え方を働かせる問いを毎時間の学習の中で、「確認／表現」として設定することで、生徒が学習課題に対して見方・考え方を働かせた学習に取り組めるよう工夫されている。 ○巻頭ページで「地球的課題とSDGs」と題して、SDGsの17の目標を掲げ、世界の諸地域で学習する6つの州で扱う地球的課題との関連を確認できるよう工夫されている。また、各州の冒頭でも、学習の視点となる地球的課題がどのような課題かを示し、生徒がその課題と関連付けながら地域的特色を追究する学習を進められるよう工夫されている。 ○日本の諸地域の導入ページに、「学習の視点」として考察する視点が明示されている。また、各地方の学習が終わった後に設定されている特設ページ「現代日本の課題を考えよう」では、「学習の視点」をもとに考察した地域的特色と課題について、生徒がさらに考えを深められるよう工夫されている。	○巻頭ページで、地理の学習を進めていくうえで重要な視点として「地理的な見方・考え方」について5つの視点で解説されている。また、各節末の「節の学習を振り返ろう」では、節を貫く問いに対して、学習した内容もとにその解決を図るため、着目する視点として見方・考え方が具体的に示されており、生徒が段階的な活動を通して、見方・考え方を働かせながら問いを解決できるよう工夫されている。 ○世界の諸地域の冒頭に「序説」と題して、世界の6つの州の特色を追究する視点・ねらいと注目する地球的課題の関係が一覧で示されており、世界の6つの州の地域的特色と地球的課題との関係を捉えられるよう工夫されている。また、「節の学習を振り返ろう」では、生徒が地球的課題と地域的特色を関連付けて考察し、課題解決を図ることができるよう活動が設定されており、よく工夫されている。 ○日本の諸地域の冒頭に「序説」と題して、7つの地方を学習する際に注目する5つの視点とそれぞれの地域にみられる課題が一覧表の形で明示されており、生徒がその視点や課題をもとに、各地方の学習をどのように進めていけばよいか分かりやすく具体的に示されている。また、5つの視点が次に学習する地域の課題を考察するヒントとして機能するよう関連が図られるなど工夫されている。	○巻頭ページ「地理との出会い」で、地理的な見方・考え方が、イラストを交えてわかりやすく説明されている。また、単元の導入では、単元を貫く学習の着目点としての見方・考え方が示されているとともに、毎時間の学習課題に応じて、着目する見方・考え方が示されており、生徒が常に見方・考え方を学習の視点として具体的に捉えやすく、優れている。 ○世界の諸地域の冒頭ページで、世界の6つの州の地域的特色を追究するためのテーマに加え、各州で取り上げる地球的課題が一覧表の形で示されており、生徒が各州の学習と関連させながら、地球的課題の要因や影響を考察しやすい。また、学習のまとめの「アクティビティ」や「チャレンジ地理」では、地球的課題と地域的特色を関連付けて考察する活動が設定されているなど、よく工夫されている。 ○日本の諸地域の導入ページに、7つの地方の地域的特色を追究するためのテーマに加え、各地方で取り上げる社会的課題が一覧表の形で示されており、各地方の学習を通して、その地方の特色と関連付けながら、環境問題や都市の変化等の社会的課題について考察を深められるよう工夫されている。

【選定の観点5】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の国土と郷土に対する愛情、伝統と文化の尊重、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深められるよう、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名			
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
○教科書全体で5つのテーマ「環境・エネルギー」「防災・安全」「人権・平和」「伝統・文化」「情報・技術」が取り上げられており、SDGsと結び付けて世界や日本の現代的な諸課題の解決を目指す学習を行う構成となっている。また、世界の諸地域の「まとめ活動」では、生徒が地球的課題の視点から各州の地域的特色を捉え、持続可能な社会に向けての課題を考察するなど、生徒が社会参画の意識を高められるようよく工夫されている。 ○特設ページ「地理にアクセス」や「もっと地理」において、世界各地の様々な文化や生活様式、環境保全や防災、情報化等について、本文の学習内容を掘り下げて詳しく説明するなど、生徒が異なる多様な文化を理解し尊重しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。 ○「地域調査の手法」では、調査テーマを協議・決定する際の視点が示されており、考察・まとめが行いやすいよう、調査の流れが系統立てて示されるなど工夫されている。また、「地域の在り方」では、生徒が地球的課題や日本の地域的な課題をもとに、身近な地域の課題を考え、調査・要因の考察・解決策の構想、そして将来像の提案に至る流れで学習を進められるよう工夫されている。	○特設ページ「地域から世界を考えよう」や「現代日本の課題を考えよう」では、世界の各州や日本の各地方の事例をもとに、地域づくりや社会参画、持続可能な社会について考える題材が取り上げられるなど、生徒が身近な例から自らも社会に参画しようとする意識を高められるよう工夫されている。 ○世界地誌・日本地誌の学習を中心に、多文化共生社会に注目した特設ページが設けられ、そこに暮らす人々の生活様式等が描かれることで、生徒が異なる多様な文化を理解し尊重しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。 ○「地域調査の方法を学ぼう」では、調査活動に必要な視点と方法が地域調査の手引きとして示されるとともに、一般的な調査過程と名古屋市をモデルとしたより具体的な調査過程の二種類が用意されており、生徒が具体的なイメージをもって実践しやすい。また、「地域の在り方」では、地域の課題として、農村、都市、ニュータウンの3つを例に、その課題解決を提案する流れで学習が進められるよう工夫されている。	○コラム「未来に向けて」で、「環境」「防災」「共生」を主題とする題材が多く取り上げられており、生徒が持続可能な開発目標の意義について理解を深められるよう工夫されている。また、世界の諸地域の各州のまとめでは、持続可能な社会に向けて構想する活動が設定されるとともに、特設ページ「地域の在り方を考える」では、各地の事例をもとに、生徒が地域の在り方を構想する活動が設定されるなど、生徒が社会参画の意識を高められるようよく工夫されている。 ○世界や日本の諸地域学習において、各地域の文化や生活様式、産業等についての歴史的経緯が積極的に取り上げられており、生徒が異なる多様な文化を理解し尊重しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。 ○「身近な地域の調査」では、調査テーマを決める際の視pointsの例、調査手順、必要な技能が系統立てて具体的に明示されており、生徒が調査のための技能を習得しやすい。また、「地域の在り方」では、日本の諸地域の学習を通して、生徒が持続可能な社会の実現を切り口に、地域が抱える課題を見出し、実態把握・課題の要因を考察し、課題解決に向けた構想・成果の発信の流れで学習を進めていくことができるよう工夫されている。	○人権、環境問題・環境保全、平和・命の尊さ、防災・減災、伝統と文化などをテーマとした題材が多く取り上げられており、現代的な諸課題について考えを深めることを通して、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。 ○適宜設定されているコラムや特設ページなどで、世界や日本における自然・世界遺産や文化財等の伝統と文化を守り、未来に継承していく人々の営みについて深く考える題材が取り上げられており、生徒が異なる多様な文化を理解し尊重しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。 ○「地域調査の手法」では、事例地域として京都市（伏見区）が取り上げられており、地域の特色を捉える5つの視点をもとにした地域調査の考察方法が用意されるなど、生徒が学習課題を身近に感じながら取り組むことができる。また、「地域のあり方」では、地域の課題と特色の把握、自然と防災、交通と観光の視点で課題要因を考察する例や、課題解決に向けた構想の流れが示されるなど、生徒が持続可能な地域づくりについて考えていけるよう工夫されている。

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道德性を身に付けられるよう、人権教育や道德教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名			
2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
○随所に設定されている「もっと地理」コーナーで、人権、平和、伝統文化、環境、エネルギー等に関連した内容が取り上げられている。また、イスラム教の人々の暮らしや、アイヌ民族の文化の歴史的背景等が題材として取り上げられるなど、生徒が人権尊重や国際平和についての意識を高められるよう工夫されている。 ○オリンピック・パラリンピックを題材に、世界の中の日本人としての自覚や、国際的視野に立った世界平和と人類の発展へ寄与する視点から、生徒が生命の尊さ、国や郷土を愛する態度等の道德的価値について考えを深められるよう工夫されている。	○アパルトヘイト、日系移民の歴史、アイヌ文化など、人権意識を高められる題材が取り上げられるとともに、自然災害に向き合う内容が積極的に取り上げられるなど、生徒が地理的視点から人権の大切さについて考えを深められるよう工夫されている。 ○ボランティアを含めた公共的な活動や政策に取り組む人々の活動が取り上げられるとともに、そうした活動に携わる人々の思いを紹介することを通して、生徒が勤労、よりよく生きる喜び、国や郷土を愛する態度等などの道德的価値について考えを深められるよう工夫されている。	○コラム「未来に向けて（共生）」が、各所に設けられており、アパルトヘイト、フェアトレード、アボリジニー・日系人・コリアタウン、アイヌ文化など、多様な価値観や異文化との共生を目指す人々の姿を通じて、生徒が人権に対する意識が深められるよう工夫されている。 ○全体を通して、防災や平和の視点から生命を大切にすることが取り上げられている。また、特設ページ「地域の在り方を考える」では、地域社会をよりよくするための取り組みが紹介されており、生徒が生命の尊さ、社会正義、国や郷土を愛する態度等の道德的価値について考えを深められるよう工夫されている。	○アパルトヘイト、コリアタウン、アイヌ民族等が題材として取り上げられるとともに、コラム「地理＋α」では、様々な言語の紹介の際「手話」が取り上げられるなど、生徒が人権尊重の大切さについての意識を高められるよう工夫されている。 ○伝統と文化の維持・発展に取り組む事例が豊富に紹介されている。また、各所で防災・減災、環境保全等について幅広く取り扱われており、生徒が生命の尊さ、自然愛護、国や郷土を愛する態度等の道德的価値について考えを深められるよう工夫されている。

【選定の観点 7－1】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
○単元を貫く「探究課題」とその解決につながる1時間ごとの「学習課題」の2段階の問いとそれぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。特に、各単元末の「まとめの活動」は、思考ツール等を用いながら、単元の学習内容の理解を深められるよう工夫されている。また、基礎的・基本的な地理的技能の習得を図るための「スキル・アップ」コーナーが、発達段階を踏まえて系統的に配置されており、生徒が技能を段階的に高められるよう工夫されている。 ○歴史・公民分野との関連を示すマークが各ページに示されているとともに、他教科との関連が一目でわかるようマークが示されており、生徒が関連を想起しやすい。また、教科書全体を通して、環境・エネルギー、伝統文化、防災・安全、情報・技術などの現代的な諸課題に関わる課題が数多く取り上げられており、生徒が現代的な課題との関連を想起ながら学習を進めていけるよう工夫されており、優れている。 ○各章の章扉には、小学校で学習した写真や用語を掲載してマーク等で示し、小学校の学習を振りかえる場面が設けられているなど、小学校での学習に中学校での学習を重ねた「7年間の社会科学学習」を系統的に展開できるよう工夫されている。	○1時間ごとの学習課題と「確認／表現」のまとめの活動、各章末の「学習のまとめと表現」に取り組むことで、生徒が学習内容の定着を図ることができる構成となっている。また、世界や日本の諸地域では、各地域の学習後に、特設ページ「地域から世界を考えよう」や「現代日本の課題を考えよう」が設けられており、生徒が現代の世界の話題や現代日本の課題から、それぞれの地域の学習をさらに深めることができるよう工夫されている。 ○巻頭に、地理で学ぶ主な内容と歴史・公民分野との関連や学習の見通しについて説明されている。また、見開きの右下には、他分野のどの単元や項目と関連するのかが示されており、分野を越えたつながりを意識しやすい工夫がされている。また、特設ページ「地域から世界を考えよう」や「現代日本の課題を考えよう」では、現代的な諸課題を取り上げることで、生徒が地域的特色と現代的な課題との関連を想起しやすい工夫となっている。 ○中学校へスムーズな連携を図るために「地理の学習を始めるにあたって」が設けられ、小学校での学習の振り返りと中学校での学習内容をわかりやすく示している。また、「地理にアプローチ」では、生徒がこれまで小学校で学んできたことを具体的に復習できるよう工夫されている。	○単元を貫く問い、1時間ごとの問いとそれぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるように工夫されている。特に、各章末の「章の学習を振り返ろう」では、章の学習内容を深める場面が段階を踏んで設定されているため、生徒が繰り返し継続的に取り組みやすい。また、日本の諸地域では、各地域の学習後に特設ページ「地域の在り方を考える」が設けられており、SDGsとの関連も踏まえ、地域の在り方を構想していくことができるよう工夫されている。さらに、「技能をみがく」コーナーは、生徒が地理学習に必要な技能を身に付けることができるよう、系統的な配置が工夫されている。 ○巻頭には、地理的分野の学習の全体像と公民的分野のつながりが示されている。見開きの左下には、歴史や公民の他分野との関連が明示され、生徒がどの単元のどの項目を振り返るとよいか分かるよう工夫されている。また、「防災」「環境」「共生」をテーマに、現在および将来の社会が直面する課題を取り上げたコラム「未来に向けて」では、生徒が現代的な課題との関連を想起しやすく、公民的分野への接続を意識しやすいよう工夫されている。 ○見開きのページ下段には「小学校・歴史・公民との関連」コーナーが設けられ、小学校で学習した内容と関連する用語が示され、生徒が小学校での学びを生かせるよう工夫されている。また、「日本の諸地域」冒頭のイラスト地図では、小学校の既習事項を復習できる問いが設定されているなど、工夫されている。	○各編の導入で、これから学習する内容の概要と見方・考え方が示され、1時間ごとに設定された学習課題を解決する学習をした後、各章末の「学習のまとめ」に取り組む構成となっている。章末には、特設ページの「自由研究」で、学習内容の理解を助ける話題が取り上げられ、「チャレンジ地理」では、学習してきたことをもとに社会に見られる課題の解決に向けて考える活動が設定されており、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。また、「スキルUP」コーナーは地理学習に必要な技能を系統立てて学習できるよう配置が工夫されている。 ○巻頭に、地理で学ぶ主な内容と歴史・公民分野との関連や学習の見通しについて説明されている。また、見開きの左下の脚注に、歴史・公民分野のどの単元と関連しているかが具体的に示されており、生徒にとって使いやすい。また、特設ページの「自由研究」や「チャレンジ地理」では、現代的な諸課題が取り上げられており、生徒が関連を図りながら学習を進めていけるよう工夫されている。 ○小学校社会科との連携コーナーが随所に設けられるとともに、各章の導入ページに小学校で学習した内容が示され、生徒が小学校での学習内容を地理学習に生かすため、繰り返し復習・再確認できるよう工夫されている。

【選定の観点 7－2】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
○日本の諸地域の単元では、各地方の学習の終わりに、それまでの学習内容と身近な地域の特色や課題とを関連付けて考える活動が設けられており、身近な地域に対する関心が高められるよう工夫されている。また、特設ページ「地域の在り方」では、それまでの学習を振り返りながら、地域の課題や変容に注目したり、地域の将来像を提案したりする活動が用意されるなど、生徒が主体的に地域社会の形成に参画する資質や態度を身に付けられるよう工夫されている。	○各地の地域おこしの事例を通して、地域社会が抱える課題と、地域の活性化に向けた人々の工夫や努力について考察が深められるよう工夫されている。また、特設ページ「地域のあり方」では、地域の課題を見つめ直し、課題を解決する方法を考察・構想していく学習を通じて、生徒が主体的に社会に形成に参画し、その発展に寄与する態度を身に付けられるよう工夫されている。	○特設ページ「地域の在り方を考える」で、実社会の人々が連携・協働して、地域のよりよい発展をめざして取り組む姿を紹介することで、生徒が社会の発展に寄与する態度を身に付けられるよう工夫されている。また、「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」、各節末の「節の学習を振り返ろう」では、地域の課題解決に向けて考えを深める活動を取り入れることで、生徒が地域の課題と自分たちの関わりを考え、よりよい地域づくりのための意識を高められるよう工夫されている。	○特設ページ「自由研究」、コラム「地理＋α」等で、「アメリカのプロスポーツ」「世界自然遺産に登録された屋久島」等、地域社会の地理的な話題が紹介されており、生徒の興味を引き付けている。また、地域調査の手法・構想の具体例を示しながら、「まちづくり会議」を開いて、構想を議論し成果を発信する活動までが想定されているなど、生徒が社会参画への関心や意欲を高められるよう工夫されている。

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
○世界の各州の導入部分に自然や生活に関する写真や、日本の各地方の導入部分には各地方の「探究課題」に関連した写真が掲載されることで、生徒が学習する地域のイメージを持てるよう工夫されている。 ○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、本文と資料の背景色を変えることで、より本文の文字が読みやすくなるよう工夫されている。 ○ユニバーサルフォントが使用されており、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用するなど工夫されている。 ○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○再生紙と環境に配慮した植物油インキが使用されている	○文字や図版などの資料の印刷は鮮明で色彩もビジュアル性が高く、特に写真の発色がきれいな印象で、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。 ○重要語句は太文字のゴシック体で表記されており、グラフなどの色使いを統一させるなど、工夫されている。 ○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されている。また、見開き右下の色分けされたインデックスで単元が分類されており、生徒にとって使いやすい。 ○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○再生紙や植物油インキが使用されている。	○写真や地図・グラフなどが大きく見やすく提示されており、写真や図版、本文が密接に関連することで、地理的事象の背景や因果関係を読み取ることができ、「地理的な見方・考え方」が自然に働かせられるよう工夫されている。 ○重要語句は太文字のゴシック体で表記されており、地図などの発色がはっきりしており、見やすくする工夫がされている。 ○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されている。また、グラフなどは、線種を変えたりするなど色以外の情報からも読み取れるよう配慮されている。 ○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○環境にやさしいフレッシュパルプとライスインキが使用されている。	○世界の各州の導入部分や日本の各地方の導入部分に自然や生活に関する写真が掲載されるなど、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。 ○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、統計やグラフの出典年まで示されるなど、工夫されている。 ○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されている。また、ページ番号に色分けされたインデックスで単元が分類されており、生徒にとって使いやすい。 ○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○再生紙や植物油インキが使用されている。